

日本学術会議総合工学委員会
ICO 分科会(第 26 期 第 4 回)
議事要旨

日時:令和 6 年 7 月 25 日(木)11:45~12:45

場所:日本学術会議6階会議室6-A(1)及びオンライン(ハイブリッド開催)

出席者:荒川泰彦委員長、松尾由賀利副委員長、馬場俊彦、美濃島薫;各幹事、笹木敬司、
清水祐公子(遠隔)、中野義昭、西澤典彦、納富雅也、野田進、早瀬潤子、松尾慎治(遠隔);
各委員
オブザーバー:岩本敏、小関泰之、北村恭子、久保若奈、小澤祐市、竹中充、種村拓夫、
西山伸彦、松井良太、宮本智之;各光科学技術調査企画小委員会委員

配布資料

- 4-1 前回議事要旨
- 4-2 分科会の活動報告
- 4-3 ICO の状況報告
- 4-4 シンポジウム配布資料

参考資料

- 4-6 ICO 分科会委員名簿
- 4-7 光科学技術調査企画小委員会委員名簿

議題

議事の冒頭、新任委員である清水、西澤、納富、松尾(慎)、早瀬各委員より自己紹介が行われた。
光科学技術調査企画小委員会委員がオブザーバーとして参加の旨、荒川委員長より紹介があった。

(1) 前回議事要旨の確認

資料4-1にもとづき、松尾(由)副委員長が前回議事要旨を説明、確認した。

(2) 分科会の活動報告

荒川委員長より、資料4-2にもとづき、2024 年度夏期部会に提出する ICO 分科会活動報告の
説明が行われた。なお、メール審議を 2 回行っているため、今回は第 4 回委員会となる。

(3) ICO の活動報告

美濃島幹事(ICO Vice-president)より、資料4-3にもとづき、第 1 回 ICO 分科会(2024 年 3 月 1
日)以降の ICO の活動についての報告と質疑が行われた。主な内容は以下のとおり。

1. ICO は、ISC (International Science Council) の Full Member として位置づけられている組織である。
なお、日本学術会議も ISC の中に位置づけられている。
2. ICO 本体の活動としては、2024 年 10 月 21-24 日に主催国際会議 ICO-26 が南アフリカで開催さ
れる。同時に、Bureau Meeting が開催され、3 年任期の Bureau メンバーの改選が行われる。

3. ICO Prize への応募締切は 7 月 15 日の予定。40 歳未満の若手研究者を表彰する賞で、歴代受賞者には、後のノーベル賞受賞者も含まれる。日本からの積極的な応募を期待する。
4. ICO は学会とは異なる団体なのか、との質問に対して、日本学術会議と同様の位置づけであるが、分野の団体であること、ICO-26 のような学術講演会も行っていること、等の説明があった。

(4) シンポジウムの準備状況報告

馬場幹事より、資料4-4にもとづき、本日 7 月 25 日に行われる、日本学術会議国際光デー記念シンポジウム～量子技術とレーザー科学の最前線～の準備状況について説明が行われた。主な内容は以下のとおり。

1. 参加登録者は 210 名超である。今回はハイブリッド配信を行わない。
2. ポスター発表は 72 グループから計 73 件。これに加えて。企業からの展示も同時に行われる。協賛企業は 31 社にのぼる。
3. オブザーバー参加の小委員会委員から、参加者へのアナウンス方法、企業参加者からの推薦方法、小委員会の構成についての提案があり、今後継続して検討、議論を続けることとした。

(5) その他

特になし。

以上
(松尾(由)記)